

日本原子力学会 第 125 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2021 年 6 月 30 日（水）9:20～12:00
2. 場 所：Web 会議
3. 出席者：大場委員長、福家副委員長、神谷幹事、伊藤委員、金谷委員、手柴委員、
土田委員、出町委員、中野委員、中村委員（委員 13 名中 10 名出席）

4. 資 料：

- 倫 125-1 前回議事録（案）
- 倫 125-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 125-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 125-2-3 20 年企画 学会誌記事提案書
- 倫 125-3 2021 年秋の大会 企画セッションに係る企画・準備について（案）
- 倫 125-4 欠番
- 倫 125-5 倫理委員会運営細則改定案
- 倫 125-6-1 2021 年倫理規程改定に係る検討経緯
- 倫 125-6-2-1 学会誌アトモス 倫理規程改定解説原稿
- 倫 125-6-2-2 月刊技術士 原稿
- 倫 125-6-3 委員再任メール審議結果

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 125-1 に基づき説明があり、異議なく承認された。

(2) 活動計画および役割分担、20 年企画等について

福家副委員長から資料 125-2-1～125-2-3 に基づき説明があった。活動計画と役割分担については、7 月新体制後の委員会で、委員会の活動の目標をどのように設定するかも含めて、修正も含めて、議論していく。主な議論は以下のとおり。

- ・「ミニ講演会」をどうしていくのか議論が必要。
- ・活動計画の 5-1 は宙に浮いた状態で時間が経過しているので、歯止めが必要。
- ・活動計画の 5-3 は、まずは担当していた JAEA 委員を中心に今後の進め方を検討して、次回委員会で議論できるようにする。その際には、本件についての過去の検討経緯も整理する。
- ・3 月以降、Zoom 打合せで東電の核セキュリティ関連事案の議論をしてきているので、活動計画にまずは枠として追記する。
- ・6-2 は、学振会の委員会活動が終了したので、削除する。
- ・嶋田委員が主担当だった 2022 年春の年会の企画セッションについては、新たな担当決めは、新体制後に検討していく。なお、副担当である中村委員からは、組織文化をテーマにすることや、20 年企画の学会誌に投稿いただいた方に参加いただく座談会のような内容も考えられ

るとの意見があった。

- ・役割分担については、委員の負担への配慮や、ノルマのような受け止めにならないような検討が必要ではないか。
- ・活動計画や役割分担は計画的に委員会活動をしていくために数年前に作成し、ローリングしてきているものであり、分担を決めて検討を進めていくことが本来の姿ではないか。
- ・役割分担がないと、結果的には3役に負担が偏る。学会活動はボランティアではあるものの、委員会に参加するだけでなく、各委員の一定の負担は必要ではないか。
- ・委員の拡充についても検討していく。ただし、委員が増えれば3役の負担が減るということでもないので、議論が必要。
- ・次回技術倫理協議会は8/2の予定。現在、秋のシンポジウムのテーマを検討中である。(中野委員報告)

(3) 2021年秋の大会企画セッションについて

伊藤委員から資料125-3に基づき説明があり、現在の準備状況について報告があった。主な議論は以下のとおり。

- ・日程は、9/8(水)13:00~14:30で決定した。座長は伊藤委員が担当する。
- ・大場委員長講演内容のうち、「倫理規程改定の検討、」は削除する。
- ・先の春の年会の企画セッションは、忌憚のない議論をするために、「非公開」のセッションとして実施した。
- ・メディア関係者が参加する際に、事前に座長に連絡がない事例があったので、お作法の明確化(Zoom参加の表示名等)を理事会で確認していただきたい。←土田委員に理事会等の場で提起していただくこととなった。

(4) Zoom打合せの状況について

大場委員長から、6/22実施のZoom打合せの状況や、参加された方の感想等の紹介があった。主な議論は以下のとおりで、新体制下であらためて検討することとした。

- ・簡単なメモを作成して委員会に報告するとしていたが、負担となっている。
- ・現在のやり方がフリーすぎるので、テーマとコアメンバーは決めて、コアメンバーで日程調整はして、WG的な位置づけで実施した方がよいのではないか。ただし、委員は都合がつけば参加は自由というかたち。
- ・頻度が多いと参加し難い。
- ・引き続きZoom打合せを実施していくことは有効であるということに異議はない。

(5) 倫理委員会運営細則の改定案について

神谷幹事から資料125-5に基づき、説明があった。

議論の結果、意見募集の前に理事会に報告して意見を求めるプロセスは追加することはせずに、記載の適正化(「公衆審査」を「意見募集」に修正等)のみの改定をすることとして、委員会として承認された。

主な議論は以下のとおり。

- ・意見募集の前に理事会に報告して意見を求めるプロセスは追加することの趣旨は理解するが、担当や委員会側の負担を考えると、やめた方がよい。
- ・理事の方にも、意見募集の期間に必要な意見を寄せていただくことを理事会できちんとアナウンスする運用にすればよいのではないか。

(6) その他

- ・資料 125-6-1、125-6-2-1、125-6-2-2 に基づき、神谷幹事から倫理規程改定の経緯の実績、フォローアップの状況（ご意見をお寄せいただいた方への連絡、レスポンスの状況、学会誌記事投稿の状況等）について報告があった。
- ・資料 125-6-3 に基づき、神谷幹事から、2021年6月30日に任期が終了する委員の再任に関するメール審議の結果について報告があった。
- ・倫理委員会メーリングリストについて、新体制の反映等の修正を中野委員が対応することとした。

6. 次 回：新体制で7月中の開催を目途に、別途調整することとした。

以上